

## ●朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)

### 金正恩総書記が平壤市普通江畔に護岸段々式住宅地区を新たに建設する構想

2021年3月26日発『朝鮮中央通信』によれば、金正恩総書記が、平壤市の普通門周辺の川岸地区に護岸段々式住宅地区を新しく建設する構想を明らかにし、現地を見て回ったとのことだ。趙甬元朝鮮労働党中央委員会書記(以下、書記と表示)、金徳訓内閣総理、チョン・サンハク書記、李日煥書記、呉秀容書記、崔相建書記、金才龍部長と金榮煥平壤市党委員会責任書記が同行した。

金正恩総書記は首都の中心部をうねり流れる景色のいい普通江の畔に沿って近代的な段々式住宅地区を形成し、多層、低層住宅を調和がとれるように配置して、この地区を特色あるように変貌させる構想について説明した。また、普通門周辺川岸地区の護岸段々式住宅地区800世帯建設は、平壤市1万世帯住宅建設とは別途に、党中央委員会が直接、責任をもって建設を推し進め、今年中に完工して党と国家のために献身的に奉仕している各部門の労働革新者、功労者と科学者、教育者、文筆家をはじめとする勤労者へのプレ

ゼントにするつもりであると述べた。

### 平壤農業大学創立40周年

2021年3月31日付『朝鮮新報』によれば、平壤農業大学が創立40周年を迎えた。同大学は1981年3月28日に創立され、教育と研究において多くの成果を上げたそうである。

### 恩情茶飲料工場が竣工、各種茶飲料を生産

2021年3月31日付『朝鮮新報』によれば、同年2月に平壤市樂浪区域南寺里地区に恩情茶飲料工場が竣工し、ここで緑茶、紅茶、鉄観音茶(ウーロン茶)などのペットボトル飲料が生産されているとのことだ。恩情茶は黄海南道康翎郡康翎邑にある「康翎国際緑色示範区」で生産されていることが知られている。

### 電力工業部門で第1四半期の計画を達成

2021年3月31日発『朝鮮中央通信』によれば、同月30日までに電力工業部門の第1四半期の計画を達成したとのことである。北倉火力連合企業所、平壤火力発電所、順川火力発電所等の火力発電所でボイラーとタービン発電機の操作と運営

において技術規定と標準操作法を厳格に守り、フル稼働、全負荷を保障したとのことだ。また、水力発電部門でも水豊発電所、虚川江発電所、長津江発電所、泰川発電所等の水力発電所で水量と発電機の技術的特性に合わせた負荷分配を合理的に行い、水の管理と発電設備運営を科学的に行い、点検補修を正常化して生産実績を上げたとのことである。

### 多くの炭鉱で第1四半期の計画達成

2021年3月31日付『朝鮮新報』は、同月30日付の「朝鮮の今日」(<https://dprktoday.com/>) ウェブサイトの記事を紹介し、石炭工業部門の多くの炭鉱連合企業所で第1四半期の計画を達成したと報じた。電力工業部門は部門として計画を達成しているため、石炭工業部門はまだそこまで生産が伸びていないとも解釈出来る。

### 咸鏡北道の料理を専門にする平壤カルメギ(かもめ) 閣食堂

2021年4月2日付『朝鮮新報』は、咸鏡北道の名物料理を出す平壤カルメギ(かもめ) 閣が人気を博していると報道している。同食堂は、ホッケ、エイ、ヒラメ、カワハギ、ボタンエビ、蟹、タコ、イカ、アワビな

どの海産物と七宝山のマツタケが有名であるとのことである。最も人気のある料理は、ズワイガニの蒸し物と焼き七宝山マツタケ、刺身入りのジャガイモデンプンで作られた冷麺であるとのことである。

### 平壤市1万世帯住宅建設が速いペースで進捗

2021年4月5日付『朝鮮新報』によれば、同年3月23日に着工された平壤市寺洞区域松新、松花での平壤市1万世帯住宅建設は、昼夜兼行の速いペースで建設が行われ、基礎の掘削が完成し、コンクリート打ちが始まったとのことである。建設に必要な鋼材は、黄海製鉄連合企業所、千里馬製鋼連合企業所、金策製鉄連合企業所等が最優先で生産供給しているとのことである。

### 金正恩国務委員長がベトナム国家主席に祝電

2021年4月7日付『民主朝鮮』は、金正恩朝鮮民主主義人民共和国国務委員長が同月5日、ベトナム社会主義共和国の主席に選ばれたグエン・スアン・フック前首相に祝電を送ったことを報道した。

### 朝鮮労働党第6回細胞書記大会開催

2021年4月7日、8日、9日付『労働新聞』によれば、同月6日～8日、平壤市で朝鮮労働党第6回細胞書記大会が開催された。同大会は、「第5回細胞委員長大会以後、党細胞書記の活動状況を全般的に分析、総括し、こんち党細胞の活動を画期的に改善、強化する上で提起される課題と実際の方途を討議することになる」とされている。

同大会には金正恩総書記のほか、趙甬元組織書記、チョン・サンハク書記、李日煥書記、クォン・ヨンジン朝鮮人民軍総政治局長、金才竜党中央委員会部長、呉日晶部長、ホ・チョルマン部長、中央と地方の党責任活動家が幹部壇について。

金正恩総書記が開会の辞を述べた。この中で金正恩総書記は、「類のない幾多の挑戦を切り抜けなければならない極めて困難な状況下でも、経済活動と人民生活をはじめとする各分野で実質的な著しい変化と発展を成し遂げて、朝鮮式社会主

義偉業を一段と前進させようとする党大会決定の実行いかんが、ほかならぬ党の末端基層組織である党細胞の役割にかかっており、党細胞の戦闘力は細胞書記によって左右されるからです」と経済建設における基層組織の重要性を強調した。また、「今回の大会には、生産現場で活動する模範的な細胞書記を基本とし、各部門の党細胞書記、道党や同等の機能を果たす党委員会の責任幹部、各市・郡と連合企業所の党責任書記、そして党中央委員会の当該活動家など、合計1万人が参加しました」としている。

その後、趙甬元書記が報告「党細胞の戦闘力と闘争力をいっそう強めて第8回党大会が示した5カ年計画を無条件決死の覚悟で遂行しよう」を行った。この報告で、趙甬元書記は、朝鮮労働党第8回大会と第1回市・郡党責任書記講習会で党決定を正確に採択し、無条件に実行する革命的気風を確立する問題、党内で批判と思想闘争、学習を強化する問題、党細胞の強化を党委員会的な活動に切り替える問題をはじめ思想・理論が明確に示されることによって、活動する党、闘争する党、前進する党の革命的な性格と面貌をいっそうはっきりさせ、党の戦闘力を全面的に強化できるようになったと述べ、総書記の精力的な思想・理論活動はわが党細胞の強化とともに末永く輝くと強調した。また、党細胞が金正恩総書記の唯一的指導体系を確立する活動を細胞活動の主眼として堅持できなかった問題、党員の党性の鍛錬に基本を置いて党生活の手配と指導を綿密に行えなかった問題、党細胞の活動を対人活動に確固と切り替えず、党政策貫徹の直接的戦闘単位としての任務を遂行できなかった問題、党細胞書記が初級政治活動家らしい品格と資質を備えて巧みな大衆工作方法を具現するための活動を正しく行えなかった問題、党細胞書記が党的原則、革命的原則がなく反社会主義、非社会主義との闘いを度合い強く展開できなかった問題を厳正に批判した。合わせて、党細胞の活動が党の意図と革命発展の要求に追いつけずにいる欠点の原因は各級党委員会が党細胞に対する指導を実質的に行わず、党細胞書記の政治意識と実務能力が低いところにあるが、それ

から招かれる悪結果は極めて重大であると報告で指摘した。

今後の方向性について、趙甬元書記は報告で、党決定貫徹へと党員と勤労者を奮い立たせるための政治活動を力強く繰り広げ、特に「一人はみんなのために、みんなは一人のために！」という共産主義スローガンを高く掲げて集団的革新の炎をさらに激しく燃え上がらせることに言及した。また、党細胞が反社会主義、非社会主義を一掃する発祥点となって猛烈な闘いを展開し、道徳的紀綱を確立するための旋風を巻き起こすべきだと述べた。そして、集団主義教育、道徳教育を強化して自分の単位を団結し、前進する愛国集団、美しくて気高い道徳気風が満ち溢れる共産主義集団につくる問題、党細胞書記が新たな発展段階に入った革命実践の要求に即して高い思想的・精神的品格と資質を備えて絶えず鍛える問題、各級党組織で党細胞の活動を積極的に助ける問題をはじめ、党細胞の活動に根本的な革新をもたらすための方途の問題が言及した。

大会では報告に続いて、パク・ミョングン祥原セメント連合企業所セメント職場修理作業班党細胞書記、チ・ドンギョクムゴル鉦山栄光坑パク・テソン英雄小隊党細胞書記、パク・グアンヒョク平壤火力発電所保温職場保温第1作業班党細胞書記、パク・ゴンイル金策製鉄連合企業所鋼鉄第2職場修理第2作業班党細胞書記、チュ・ヨンボム興南肥料連合企業所水電解職場電解修理作業班党細胞書記、パク・ヒョンチョル南浦市千里馬区域降仙協同農場農産第10作業班部門党書記兼第1党細胞書記、キム・チュンソン平安南道价川市国土環境保護管理部道路補修管理隊道路監督第1党細胞書記、キム・ソンナム松南青年炭鉦山青年突撃隊党細胞書記、パク・ヨンチョル1月8日水産事業所「タンブン(紅葉)18-03」号党細胞書記、リ・ホジュン咸鏡北道検察所第1党細胞書記、パク・ソンチョル高山果樹総合農場直属第13作業班の党細胞書記、ソン・ジンギョク開城市幼児食品工場あめ作業班党細胞書記、キム・ジョンシク城川江電機工場組立職場党細胞書記が討論した。

翌7日には、趙甬元書記とその他の書記が会議を指導し、討論が行われた。

キム・ウンギョン金正淑平壤製糸工場3職場系繰り1党細胞書記は、党の指導業績を輝かすための思想教育活動を前世代の闘争精神に見習う活動と結びつけて現実に合わせておこなうことによって生産者大衆の精神力を最大に発揮させたことについて言及した。チョンギル金鍾泰電気機関車連合企業所機関車組立工場台車作業班党細胞書記、キム・ホンイル両江道革命戦跡地管理局保存管理处党細胞書記は党員に対する党生活の手配と指導を改善するための活動を綿密におこなったことについて討論した。リ・ガンチョル龍門炭鉱2坑採炭二中隊党細胞書記、キム・ヨンイル農業研究院稲研究所生物工学研究室党細胞書記は党員の先鋒的役割を強める活動を具体的な方法論を持っておこなうことによって党細胞の戦闘力をいっそう強めたことについて討論した。ホ・ヨンイル黄海製鉄連合企業所条鋼職場加熱2作業班党細胞書記、ハン・サムヒョク江界精密機械総合工場党細胞書記は、対人活動をりっぱにおこなうことは党細胞書記の本分であり、基本的任務であると述べた総書記同志の教えを心に刻み、模範的実践で大衆を導いてきたことについて述べた。

チュ・ピョンス金策工業総合大学金属工学部冶金学講座党細胞書記は、教師、研究者との活動を対象の特性と準備程度に合わせて正しい方法論を探し出しておこなうことで、大学が国の科学教育と経済建設を牽引する機関車、国の長男大学としての役割を円滑に遂行することに寄与するようにしたと討論した。キム・ミョンソン江南郡峰陣協同農場畜産作業班党細胞書記、チェ・ミョンソン信川郡白石協同農場2作業班部門党書記兼1党細胞書記は自身の模範で大衆の熱意を奮い立たせ、末端活動家隊列を強化して党の農業政策貫徹と農村基盤強化において成果をおさめたことに言及した。

キム・チョルナム2.8ビナロン連合企業所合成職場アルテヒド作業班党細胞書記、チェ・ジョンリム朝鮮赤十字総合病院心臓専門病院血管造影科党細胞書記、アン・イルグァン虚川江発電所5号発電所党細胞書記、チェ・イングク寧辺郡和平高級中学校党細胞書記、キム・ゴンイル化学工業

省初級党副書記、チェ・ミョンイル兎山アヒル工場黄江農場7作業班党細胞書記、リ・ウンソン千里馬製鋼連合企業所ガス発生炉職場三交替党細胞書記、チェ・グァンミョン平城市陽地分駐所党細胞書記らは、細胞活動を党の意図に即して実質的におこなえなかった偏向を批判的見地から反省した。

第3日目の同月8日には、キム・ソンヨン黄海南道碧城郡山林経営所通山地区山林監督分所党細胞書記、チョウンモ南浦市党委員会書記、ホドンナム大型対外建設者養成事業所第3職場第2作業班党細胞書記、リ・インチョル平安南道殷山郡崇化農場第3作業班党細胞書記、パク・ジュソン千里馬タイヤ工場技術課党細胞書記、キム・チョル朝鮮4・25シナリオ創作社創作第3室党細胞書記、リ・チュンヒョク恵山青年鉱山作業探査隊の斜坑小隊党細胞書記、リ・グムチョル和平林産事業所ソクマク林産作業所山地第2小隊党細胞書記、シン・グァンホ8月21日工場党細胞書記が討論した。

各討論者は、党細胞書記の本分と基本任務に即して対人活動に力を入れ、わが党の初級政治活動家としての品格と活動方法を体得するために極力努力する過程に収めた成果と経験に言及した。

同大会では、党細胞を強化するための手配と掌握・指導活動を綿密に行えなかった問題と党の指導業績を通じた教育活動を実質的に行えなかった問題、革命的大衆観点が正しくない問題など一部の党細胞で発露した欠点も深刻に批判、総括された。各討論者は、党活動で主眼を逃し、党細胞書記が初級政治活動家らしい品格と資質を備えられないなら、基層党組織の実践力が党の要求に追いつけず、人々の志と心をひとつに合わせ、集団的知恵と創意性を積極的に発揮させることができないう教訓をくみ取るようになったことに言及した。

金正恩総書記が綱領的な結語「現時期、党細胞強化で提起される重要課題について」を述べた。金正恩総書記はまず、歴史的な朝鮮労働党第5回細胞委員長大会が行われた時からこんにちに至る期間、党細胞を強めるための活動ではきわめて肯定的な成果が収められたことについ

て言及した。次に、全党的に基層党組織を強化する活動が深化されている今日にきてもかなりの党細胞に内在されている主要な欠点について通報し、これまで党細胞を強めるための活動で収めた成果と経験は、積極的に踏まえ、現れた偏向と欠点は大膽に改めながら発展する現実の要求と党員大衆の高揚した熱意に合うように党細胞強化で新たな転換をもたらすことについて「現時点における党中央の分析と戦略的意図は全党の数十万細胞が当たり責任制の原則で自分が受け持った革命陣地をしっかりと固守し、革命化、共産主義化しようという闘争目標を掲げてたたかわなければならぬということです」などと強調した。

その上で、金正恩総書記は、総書記同志は革命発展の要請に即して全党の細胞を人間的にしっかりと団結された健康で、血気旺盛な細胞にするために現時期党細胞の前に提起される10の重要課題と細胞書記が身につけるべき12の基本的品性を提示した。10の重要課題とは、

- ①党員と勤労者を党の路線と政策でしてしっかりと武装させること
- ②党員と勤労者の中で5大教育（革命伝統教育と忠実性教育、愛国主義教育、反帝階級教育、道徳教育）を基本にして思想教育を実質的に繰り広げること
- ③党規約学習を強め、党生活を正規化、規範化すること
- ④党員の中で党組織観念を高め、自発的な党生活気風を確立すること
- ⑤細胞の活動を党大会と党中央の重要決定貫徹へ確固と志向させること
- ⑥科学技術の力で自らの単位に課された革命任務を責任をもって遂行すること
- ⑦入党対象者を掌握し、教育し、鍛えることに手間をかけること
- ⑧青年教育に特別な力を入れること
- ⑨人間改造活動を積極的に展開し、集団の中に互いに助け、導く共産主義的気風が満ち溢れるようにすること
- ⑩反社会主義、非社会主義的現象との闘争を強く展開すること

であり、12の基本的品性とは、党性、原則性、政治性、責任性、率先垂範、創意性、大衆性、人間性、真実性、楽天性、道徳性、清廉潔白性

であるとした。

大会では、朝鮮労働党総書記の表彰状が模範的な党細胞書記たちに授与された。金正恩総書記が、党細胞強化のための活動で模範を示した党細胞書記であるパク・グアンヒョク、キム・ウンギョン、チュ・ピョンス、キム・ミョンソン、リム・キョンジェ、カン・ピョンヒョク、チェ・ジョンシル、キム・ヒョンジン、チョン・ヨンスン、キム・ジェオ、リュ・グムチョル、キム・ソンナム、リ・ソンチョル、シン・グムチョル、ホ・ヨンイル、チェ・ミョンソン、キム・ソンヨン、リ・ジョンソン、リ・グムチョル、リ・グァンス、パク・ソンチョル、キム・ハクナム、リ・ジョンファ、ユ・テソン、キム・リョンスク、パク・ゴンイル、ヨ・グアンチョル、チ・ジェヨン、リ・ヨンチョル、キム・ホンイル、パク・ヒョンチョル、マ・チョルス、ファン・ヨンイル、パク・ヨンチョル、パク・ジュソン、ハン・ヨンシク、リ・グアンチョル、キム・セオク、シン・グアンホ、キム・チョルギョン、カン・リム、パク・フンシク、リ・ミョンチョル、チョ・ヨンギル、キム・ヨンイル、ハン・チュンソン、チ・ドンギョ、パク・ミョングン、チャン・ジェナム、チョン・ヨンスムの各氏に表彰状を直接授与した。

その後、金正恩総書記が、朝鮮労働党第6回細胞書記大会の閉会の辞を述べた。

### 葛麻食料工場の製品が人気

2021年4月7日付『朝鮮新報』によれば、江原道元山市にある葛麻食料工場の製品が人気を呼んでいるとのことである。同工場では2014年の操業開始以来、スケトウダラ、イカをはじめとする水産物を加工しており、現在ではフリーズドライのスケトウダラやイカ、タコ、ハタハタ、ホタテ貝、スケトウダラの唐辛子薬味和え、スケトウダラの胃の唐辛子薬味和え、エラの唐辛子薬味和え、明太子、チャンジャ、イカの塩辛、魚の皮を揚げたものなどを生産している。原料の栄養素の90%以上を保持したまま加工ができ、フリーズドライの棒鱈(スケトウダラの乾物)は、2020年の国家最優秀製品に授与される12月15日品質メダルを授賞されたそうである。

### 朝鮮労働党第6回細胞書記大会参加者のための講習

2021年4月12日付『朝鮮中央通信』に

よれば、同月9日～11日、朝鮮労働党第6回細胞書記大会参加者のための講習が行われた。報道では「講習は、金正恩総書記の党細胞重視思想、党細胞強化路線の真髄とその正当性を深く刻み付け、党細胞の機能と役割をより強化するための具体的な方法論を研究・体得することで、革新的な思考と活動態度で細胞活動において新たな転換をもたらすのだという、参加者の積極的かつ真摯な熱意の中で行われた」とされ、「講習の出演者は、金正恩総書記の唯一的指導体系を確立する活動が、党細胞をはじめとする全党の党組織が一意専心すべき朝鮮革命の最重要大事であり、この活動では完成があり得ず、寸分の譲歩や抜かりもあってはならないということについて解説した」とされる。

### 各地で洪水被害を防ぐための河川改修に注力

2021年4月13日付『朝鮮中央通信』によれば、北朝鮮各地で洪水被害を防ぐために河川の改修作業に力を入れているとのことである。平壤市万景台区域、力浦区域、江東郡が春の国土管理総動員計画に反映された川底を掘り下げる工事を終えた。平安北道枇岷郡では2箇所、河川に対する川底の掘り下げを同時に行っており、同道寧辺郡でも川底の掘り下げをしっかりと遂行した。平安南道成川郡では、沸流江上流の川底の掘り下げを10日で終わらせ、この区間の水の通過能力を高め、周辺に位置する農場と耕地を保護するようにした。同道平原郡では普通江上流に対する整理事業に対する設計を選考させ、模範事業を組織して川底の掘り下げと堤防補修工事を終えた。他の道、市、郡、区域でも自らの地域の河川を整理することに力を入れているとのことである。

### 「清流館」vs「玉流館」—平壤市内のレストラン間の競争

2021年4月15日付『朝鮮新報』には、平壤市にあるレストラン「清流館」では、冷麺で有名なレストラン「玉流館」と同じく冷麺と肉冷麺を出しており、現在ではスッポン料理でもお互いに競争していることが紹介されている。

### 朝鮮労働党中央委員会がキューバ共産党第8回大会に祝電

2021年4月17日付『労働新聞』によれば、同月16日、朝鮮労働党中央委員会がキューバ共産党第8回大会に祝電を送った。

### 教員大学建設および改築工事の推進

2021年4月19日付『労働新聞』によれば、北朝鮮各地で改築近代化した平壤教員大学をモデルにして、教員大学建設および改築工事が積極的に推進されているとのことである。黄海北道では沙里院教員大学建設が、咸鏡北道では、会寧市の金正淑教員大学改築工事が、平安北道でも新義州教員大学建設が積極的に推進されているとのことである。また、江原道をはじめとする他の道でも教員大学建設に力量を集中していると報道は伝えている。

### 金正恩総書記がキューバ共産党第1書記に祝電

2021年4月20日付『労働新聞』によれば、同月19日、金正恩総書記がミゲル・ディアスカネル・ベルムデスキューバ共産党中央委員会第1書記兼キューバ共和国国家主席に、キューバ共産党中央委員会第1書記に選挙されたことに対する祝電を送った。

### 果樹農場で果物の木を植える工程が完了

2020年4月20日付『朝鮮中央通信』によれば、黄海南道クァイル郡、咸鏡北道北青郡、江原道高山果樹総合農場、平安南道温泉果樹農場、平壤果樹農場をはじめとする全国の果樹部門で数百万株の果物の木が植えられたとのことである。これらは農業省果樹管理局で今年の果物生産計画と優良品種果物苗生産、輪作と更新計画の遂行のために行われたとのことである。

### 朝鮮労働党中央委員会国際部長が駐朝キューバ大使館を祝賀訪問

2021年4月21日付『労働新聞』によれば、同月20日、金正恩総書記の委任によって、党中央委員会の金成男国際部長が、

駐朝キューバ大使館を祝賀訪問し、金正恩総書記がキューバ共産党中央委員会のミゲル・ディアスカネル・ベルムデス第1書記に送る祝いの言葉をヘス・デロスアンヘレス・アイセ・ソトロンゴ駐朝キューバ大使に伝えた。

### 春の植樹で1億数千万株の木が植えられる

2020年4月21日付『朝鮮中央通信』によれば、春の植樹が活発に行われ、1億数千万株の木が植えられたとのことである。平安南道では2千数百万株、黄海北道、咸鏡南道、南浦市、開城市をはじめとする各地でも植樹が活発であるとのことである。

### 平壤市龍城区域でキノコ生産の革新

2021年4月21日付『朝鮮新報』によれば、平壤市龍城区域では区域の住民向けにキノコを供給する小さなキノコ生産場があるが、この生産場の責任者が新たなキノコ生産方法を研究し完成させ、導入した結果、生産量が以前の何倍にもなり、キノコ工場と同じくらいの生産量があるとのことである。区域（区役所）では、ここで生産されるキノコを託児所と幼稚園に優先的に供給し、野菜商店や屋外の屋台で販売しているそうである。

### 熙川製糸工場で設備国産化率85%達成

2021年4月21日付『朝鮮新報』によれば、慈江道にある熙川製糸工場で国産化とリサイクル化を両輪にして、自力で設備の部品の生産を行い、これらの国産化率を85%以上に引き上げたとのことである。

### 金正恩総書記がキューバ共産党第1書記に祝電

2021年4月22日付『労働新聞』によれば、同月20日、ミゲル・マリオ・ディアスカネル・ベルムデスキューバ共産党中央委員会第1書記兼キューバ共和国主席に祝電を送った。内容は次のとおり。

ハバナ

キューバ共産党中央委員会第1書記  
キューバ共和国主席

ミゲル・マリオ・ディアスカネル・ベルムデス同志

誕生日を迎える尊敬する同志に最も熱烈な祝賀と真心からの同志的あいさつを届けます。

私は第1書記同志を元首とするキューバ党と国家の新しい指導部が老世代革命家らが開拓し、発展させてきたキューバ革命偉業をしっかり継承し、力強く前進させていくであろうと固く信じます。

あわせて第1書記同志の精神的な指導の下で敵対勢力の悪質な制裁封鎖策動と折重なる試練の中でも社会主義の偉業の勝利的前進のための闘争で大きな成果を収めている兄弟的キューバ人民に固い支持と連帯を送ります。

私はこの機会に社会主義の偉業実現のための共同の闘争の中で結ばれたわが両党、両国人民間の伝統的な友好・協力関係が今後より強化、発展されるであろうという確信を表明しながら第1書記同志と家庭のみなさんが健康で、幸福であることを心から願います。

朝鮮労働党総書記

朝鮮民主主義人民共和国國務委員長

金正恩

チュチュエ110（2021）年4月20日

平壤

### ラウル・カストロ・ルス氏が金正恩総書記に親書を寄せる

2021年4月25日付『労働新聞』によれば、金正恩総書記にラウル・カストロ・ルス氏から親書が寄せられた。ラウル・カストロ・ルス氏は、金正恩総書記が口頭親書を送って朝鮮労働党第8回大会情況を通報してくれたことに心からの謝意を表するとともに、キューバ共産党とキューバ人民、そして自身の名であいさつを送った。ラウル・カストロ・ルス氏は重大な出来事となる朝鮮労働党第8回大会で採択された決定を貫徹するための朝鮮労働党と朝鮮人民の闘いにおいて成果があることを願うとともに、両党、両国人民の友好・協力関係を引き続き強化、発展させていく意志を確言した。

### 外務省ロシア担当副大臣が談話発表

2020年4月26日付『朝鮮新報』によれば、

同月25日、2019年4月25日のウラジオストクでの金正恩総書記とロシアのプーチン大統領との首脳会談2周年を迎え、北朝鮮外務省のイム・チョンイルロシア担当副大臣が談話を発表した。

### 非常防疫対策をぬかりなく行うことに注力

2021年4月26日付『朝鮮中央通信』は、世界的な保健危機に対処して北朝鮮でも各級非常防疫部門が新型コロナウイルス感染症の世界的な伝播状況に合わせて非常防疫対策をぬかりなく行うことに総力を集中していることを報道した。

各生産現場や大学、学校等での防疫の充実に力を入れており、農村では河川の水を灌漑用水に使っている地域に対し、川の水に対するPCR検査の実施地点を増やす等、できる限りの対策を行っていることが紹介されている。

### 知的財産権の発展拡大のための政策

2021年4月26日付『朝鮮中央通信』によれば、北朝鮮では知的所有権の発展戦略に基づいて、知的財産の創造と保護、流通、利用のための制度と秩序を強固にして、戦略的に集中性、実効性を確保するようにする事業が国の統一的指導の下、行われているとのことである。一例として、知的所有権の審議、登録、保護と関連した現行法の規定を今の時期のニーズに合わせて更新していることをはじめ、知的所有権保護のための法律的、制度的条件と環境を完備する事業が推進されている。企業では労働者が知的財産を創造して積極的に活用していくように企業戦略を作成しており、競争力を持つ発明した、工業図案、商標、著作物をより多く作成するための競争が激しいそうである。毎年、社会的に意義が大きいと知的創造物に直接貢献した発明者、創作者に国が制定した賞を授与している。一方、国の発明展覧会、中央産業美術の展覧会をはじめとする展覧会、展示会や、世界知的所有権の日（4月26日）を契機に、テレビや新聞、放送を通じて宣伝活動を活発に展開し、社会的に知的財産権の保護のためにコンプライアンス意識と関心をさらに高めるようにしているとのことである。

教育部門では、知的所有権事業と関連した整然とした教育システムを確立するための準備事業を加速、この部門の人材をより多く育成することができる基盤と環境を用意している。

北朝鮮政府は、1974年8月、世界知的所有権機関（WIPO）に加入し、機関の特許協力条約をはじめとする10以上の条約、協定に調印し、その義務を誠実に履行するなど WIPO との事業を積極的に進めているとしている。

### 石炭灰からレンガを生産

2021年4月27日付『朝鮮新報』によれば、平壤市科学技術委員会は石炭を燃やしたときに出る石炭灰を使ってレンガを作る方法を完成させたとのことである。

### 茂山輸出加工区の設定

2021年4月29日付『朝鮮新報』によれば、同月24日付で茂山輸出加工区を設置する最高人民会議常任委員会の政令が発表された。内容は次のとおり。

第602号 主体110（2021）年4月24日  
茂山輸出加工区を設置することについて

朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議常任委員会は、次のように決定する。

1. 咸鏡北道茂山郡セゴル里の一部の地域に茂山輸出加工区を設置する。
2. 茂山輸出加工区には、朝鮮民主主義人民共和国の主権が行使される。
3. 朝鮮民主主義人民共和国内閣と当該機関は、この政令を執行するための実務的な対策を立てる。

朝鮮民主主義人民共和国  
最高人民会議常任委員会  
平壤

茂山の輸出品といえば、茂山鉄鉱山の鉄鉱石がこれまでの実績の中では大きい。これまでは鉄鉱石をトラックで豆満江の対岸である吉林省延辺朝鮮族自治州の南坪まで運び、そこで精鉱に加工した上で吉林省通化市まで鉄道で輸送していたが、今後は一次加工を北朝鮮国内で行い、少しでも付加価値を上げようとする試みが行われる可能性がある。

### 金日成・金正日主義青年同盟 第10回大会開催

2021年4月29日、30日付『労働新聞』によれば、同年4月27日～29日、平壤市で金日成・金正日主義青年同盟第10回大会が開催された。同大会には各級青年同盟組織で選挙された代表者が参加した。（朝鮮労働）党、武力機関、青少年教育関係者がオブザーバーとして参加した。李日煥朝鮮労働党中央委員会書記、金才龍党中央委員会部長、クオン・ヨンジン朝鮮人民軍総政治局長と青年同盟中央委員会執行委員たち、道青年同盟委員長たち、模範的な青年同盟の活動家らと同盟員、武力部門の青年活動幹部、軍人たちが幹部壇についた。

大会では執行部と書記部を選挙した。

大会では、金正恩総書記に金日成・金正日主義青年同盟第10回大会に際して、在日本朝鮮青年同盟中央常任委員会と在中朝鮮人青年協会が祝旗を送ったことについて紹介した。

大会は、次のような議案を承認した。

1. 金日成・金正日主義青年同盟中央委員会の活動総括
2. 金日成・金正日主義青年同盟中央検査委員会の活動総括
3. 青年同盟の名称を改めることについて
4. 青年同盟規約の改正について
5. 青年同盟中央指導機関の選挙

第1議案に対する報告を朴鉄民青年同盟中央委員会委員長が行った。

報告者は、金正恩総書記の卓抜した指導と配慮の中に総括期間、わが国の青年運動が新しい発展段階に入ったことについて言及した。また、時代と革命に対して担った使命と任務を立派に遂行するには同盟の活動に内在している欠点を克服するための実際の対策を立てなければならぬと述べ、総括期間、青年同盟の各組織で思想教育団体としての本然の任務にふさわしく青年組織の戦闘力を全面的に打ち固めるための活動を力強く推し進められなかった欠点を資料を挙げて分析、総括した。報告では同盟内部活動を手間をかけて綿密にして取り掛かれなかった問題、青少年の中で現れる反社会主義、非社会主義的現象との闘いを強い調子で

展開しなかった問題、青年を社会主義建設の先頭に立てるための活動を大胆で度量が広く積極的に手掛けられなかった問題が深刻に批判された。報告者は、青年同盟組織が児童・生徒を知・徳・体を兼備した有能な革命の人材、少年革命家にたくましく準備させて、チュチェ革命のバトンをしっかり継いでいくようにすることについて述べた。

大会では、第1議案に対する討論が行われた。

朝鮮人民軍青年同盟組織のキム・チュンソン代表とパク・ミョンジン、ペク・ハクリョン平壤市青年同盟組織代表、ハン・インチョル速度戦青年突撃隊青年同盟組織代表が討論した。

大会では、第1の議案に対する討論が続いた。キム・ジョンヒョク平壤市青年同盟組織代表、チョン・チョル黄海北道青年同盟組織代表、リュ・グァンヒョク黄海南道青年同盟組織代表、ペク・ヨンミン平安北道青年同盟組織代表、キム・ソンヒョン内閣青年同盟組織代表、キム・ヒョクチョル南浦市青年同盟組織代表が討論した。

ペ・チュンイル平壤市青年同盟組織代表、キム・ギョングン平壤市青年同盟組織代表、キム・チュンイル江原道青年同盟組織代表、リ・チュンヒョク黄海北道青年同盟組織代表、チョン・チュンナム咸鏡南道青年同盟組織代表、チェ・ギョングン朝鮮人民軍青年同盟組織代表、チョン・チュンナム咸鏡南道青年同盟組織代表、ソン・ヨンホ黄海北道青年同盟組織代表、キム・ウンチョル平壤市青年同盟組織代表が書面討論を提出した。

各討論者は、青年が党の呼びかける困難で骨の折れる各部門に勇躍駆けつけて進撃の突破口を開き、祖国防衛、人民防衛、革命防衛の聖なる使命と任務を立派に遂行するための闘いで取れた成果と経験を言及した。

大会では、総括期間に青年同盟の活動で現れた欠点と原因が全面的に分析、総括された。討論では、思想教育の新しい方法を絶えず探究して教育実践に適用するための積極的な対策を立てず、教育活動が青年に精神的滋養、革命的糧を与える重要な契機にならなかった問題が批判された。自分の地域と単位、自分の郷土

に宿っている党の指導業績を固守し、輝かした前世代の忠実性のバトンをつないでいくための組織・政治事業を強力に展開することができず、青年を科学者に、技術革新のやり手に育てる活動に当然の手間をかけなかった偏向などが述べられた。各討論者は、新しい決心と覚悟を持って奮発して、同盟の建設と活動を徹頭徹尾、党の思想と意図通りに行っていく決意を披歴した。

大会では、第2議案「金日成・金正日主義青年同盟中央検査委員会の活動総括」に対する報告に続いて討論が行われ、決定書が全会一致で採択された。

大会では、第3議案「青年同盟の名称を改めることについて」が討議された。青年同盟の名称を「社会主義愛国青年同盟」に改めることに関する決定書が、代表者の全員賛成で採択された。

大会では、第4議案「青年同盟規約の改正について」が討議された。青年同盟規約の改正に関する報告があった。報告者は、青年同盟に提起される新しい闘争課題と革命発展の要求、青年同盟建設の原理に合わせて修正、補足される規約の内容を概括した。また、改正される青年同盟の規約に朝鮮労働党の後続部隊である社会主義愛国青年同盟の戦闘力を全面的に高めるための実践的要求が反映されたことについて強調し、修正、補足された規約を本大会の審議に提起した。大会では、青年同盟規約の改正に関する決定が代表者の全員賛成で採択された。

大会では、第5議案「青年同盟中央指導機関の選挙」を討議した。まず、青年同盟中央委員会を選挙した。推薦された青年同盟中央委員会の委員、委員候補の候補者全員が代表者の全員賛成で青年同盟中央委員会の委員、委員候補に選挙された。社会主義愛国青年同盟中央委員会第10期第1回総会が行われた。朝鮮労働党中央委員会の李日煥書記が、社会主義愛国青年同盟中央委員会第10期第1回総会の決定の内容を発表した。青年同盟中央委員会の執行委員会が、選挙された。

青年同盟中央委員会の委員長にムン・ Chol氏が、副委員長にリ・ジュ Chol氏、パク・ミョンジン氏、ペ・チュンイル氏、ペク・

ハクリョン氏、カン・ヨンジン氏、チャン・リョンギル氏、キム・ソンイル氏、キム・ギョングン氏、ハム・グアン Chol氏が選挙された。

青年同盟中央委員会の組織委員会が、構成された。青年同盟中央検査委員会の委員長、副委員長、委員が選挙された。青年同盟中央委員会の部長と青年前衛新聞社の責任主筆が、任命された。大会は、新たに選挙された第10期青年同盟中央指導機関のメンバーで大会決定書の草案作成委員会を選挙し、委員会は第1の議案に対する決定書の草案を総合的に審議した。

大会では、代表者たちが提起した創意的かつ建設的な意見が補足、反映された第1の議案「金日成・金正日主義青年同盟中央委員会の活動総括」に対する決定書が、代表者の全員賛成で採択された。金正恩朝鮮労働党総書記兼國務委員長 の委任によって、李日煥朝鮮労働党中央委員会書記が、社会主義愛国青年同盟旗を授与した。

金正恩総書記が青年同盟第10回大会に送った綱領的書簡「革命の新しい勝利を目指す歴史的進軍で社会主義愛国青年同盟の威力を遺憾なく発揮せよ」を朝鮮労働党中央委員会政治局委員である金才龍朝鮮労働党中央委員会部長が伝達した。

金正恩総書記は、革命と国家建設における青年の持つ意味を強調しつつ、「わが党は今後の5年間を、朝鮮式社会主義の建設に画期的な発展をもたらす効果的な5年間、歳月を縮めて山河を今一度大きく変貌させる大変革の5年間にするための作戦を立てています」「そして、次の段階の壮大な闘争を連続的に展開して、今後15年内外に全人民が幸福を享受する隆盛・繁栄の社会主義強国を打ち建てるともりです」とした。そして、青年同盟の基本的任務について「全ての青年を社会主義を断固擁護し、社会主義建設闘争に献身する愛国青年に育て上げること、これが現段階における青年同盟の基本的任務です」とし、具体的な課題としては「社会主義愛国青年同盟に提起される重要な課題は第一に、全ての青年を社会主義を信念とする愛国青年としてしっかり準備させることに同盟活動の全てを志向させるこ

とです」「社会主義愛国青年同盟に提起される重要な課題は第二に、第8回党大会の決定を貫徹するための実際の闘争を通じて全ての青年を榮譽ある社会主義建設者に育て上げることです」「社会主義愛国青年同盟に提起される重要な課題は第三に、青年を社会主義道徳と文化の真の主人にすることです」と披歴した。

旧ソ連崩壊時に生まれた子供がすでに30歳になり、青年たちが物心ついた時代には社会主義国際市場はすでになかった。社会主義の優越性を教育しても、それに対する実感が伴わない世代をどう教育していくのか、今回の大会で変更された「社会主義愛国」の名称は、朝鮮労働党と北朝鮮政府が若い世代に教えようとする価値観であるが、それをどのように納得させ、浸透させていくのか。若者の力を信じ、その活力を活かしながら、公益性を重視する気風をどう作り出していくのか、難しい舵取りが必要とされているように感じる。

## 青年同盟第10回大会参加者のための講習

2020年5月1日発『朝鮮中央通信』によれば、青年同盟第10回大会参加者のための講習が同年4月30日、平壤で行われた。李日煥朝鮮労働党中央委員会書記が「青年同盟第10回大会決定貫徹のための闘争において大会参加者たちが自らの責任と本文を果たしていくことについて」の題目で講演を行った。

## 平安北道洪建島干拓地の第2段階完工と黄海南道龍媒島干拓地の第3、4区域の完工

2020年5月1日発『朝鮮中央通信』によれば、平安北道、黄海南道の干拓地建設総合企業所の建設者たちが（平安北道の）洪建島干拓地の第2段階を完工して干拓地開墾史上、類例のない大規模の洪建島干拓地の建設を締めくくり、（黄海南道の）龍媒島干拓地の第3、4区域の建設を短期間に終えて外海に1万3000ヘクタール余の新しい土地を作った。平安北道の東林郡雁山里から宣川郡のシンミ島、黄海南道の青丹郡新生里から新豊里までを連結させて堤防に沿って大環状線

道路が形成され、海と調和した田野と養殖場が整い、第8回党大会が提示した農業生産目標の達成と人民生活の向上に寄与するもう一つの土台が築かれたとのことである。

### 最高人民会議常任委員会第14期 第14回総会

2021年5月2日付『労働新聞』によれば、朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議常任委員会第14期第14回総会が、同年4月30日に行われた。

朝鮮労働党政治局常務委員で朝鮮民主主義人民共和国國務委員会第1副委員長である崔竜海最高人民会議常任委員会委員長が、全総会を執行した。太亨徹、パク・ヨンイル最高人民会議常任委員会副委員長、高吉先書記長をはじめとする最高人民会議常任委員会の委員が、総会に出席した。最高人民会議常任委員会の当該の活動家が、オブザーバーとして出席した。

総会では、朝鮮民主主義人民共和国革命事績事業法、ソフトウェア保護法、商品識別符号管理法の採択と、朝鮮民主主義人民共和国環境保護法、建設法の修正、補足に関する問題が議案として上程された。

総会では、最高人民会議法制委員会が審議したこれらの法の基本内容と環境保護法、建設法の修正・補足案に対する解説があった。5ケ章、44条で構成された革命事績事業法には、朝鮮労働党の栄光に輝く革命活動史と不滅の業績を擁護、固守し、継承して発展させ、人民をチュチュエの革命伝統でしっかり武装させるための誉れ高く重要な事業である革命事績事業の原則と革命事績の発掘、収集、考証、保存管理など、革命事績事業体系の確立に関する条項が具体的に明示されている。

ソフトウェア保護法には、ソフトウェアの登録と利用において制度と秩序を徹底的に立ててソフトウェア著作権を保護し、ソフトウェアの開発を奨励し、投資を増やすようにする問題とソフトウェア保護事業に対する指導、統制をはじめ、この法の順守と履行において提起される実務的問題が明らかになっている。

商品識別符号管理法には、生産単位の新しい製品の開発と手続きに便利に商品識別符号の制定と使用において提起される問題が規制され、商品の販売を情報化し、商品識別符合事業に対する監督・統制を強化することで、社会主義商業の発展と社会経済的安定を保障するための条項が反映された。

環境保護法、建設法には、環境管理、自然環境の保存と造成、環境汚染の防止で厳しい制度と秩序を立てて、人民に文化的な生活条件と環境を提供する活動を法的に保証し、建設の設計と施工、建設物の竣工検査、建設事業に対する指導・統制に関連する内容を規制した部分をより細分化、具体化した条項が修正、補足され、当該の法を違反した行為に対する処罰の内容が含まれている。

総会では、上程された議案に対する研究・討議に基づいて最高人民会議常任委員会の政令「朝鮮民主主義人民共和国革命事績事業法を採択することについて」「朝鮮民主主義人民共和国ソフトウェア保護法を採択することについて」「朝鮮民主主義人民共和国商品識別符号管理法を採択することについて」「朝鮮民主主義人民共和国環境保護法を修正、補足することについて」「朝鮮民主主義人民共和国建設法を修正、補足することについて」が、全員賛成で採択された。

### 全国自動化部門科学技術発表会

2021年5月10日発『朝鮮中央通信』によれば、全国自動化部門科学技術発表会が朝鮮科学技術総連盟中央委員会の主催で画像会議方式で行われた。「金属工業と自動化」というテーマで開催された今回の発表会は、党第8回大会と党中央委員会第8期第2回総会決定貫徹のための闘争で自動化部門と金属工業部門の科学者、技術者と生産者の間の創造的協力を強めてチュチュエ鉄生産システムの技術的完成と生産能力拡張を積極的に奮い起こす目的で行われた。

発表会には金日成総合大学、金策工業総合大学、国家科学院自動化研究所、操縦系研究所、金策製鉄連合企業所をはじめとする10個余りの単位の幹部と教師、研究者、博士生、現場技術者など

が参加した。「PLCによる酸素圧縮機プロセス制御体系確立」、「ロバストPID制御手法に基づいた凝縮機冷却水温度制御系に対する研究」などの論文が実践的意義が大きいこととして高い評価を博した。

発表会では科学技術成果に対する発表と共に黄海製鉄連合企業所、千里馬製鋼連合企業所の自動化部門で提起される問題を解決するための技術方案が深く討議された。この期間におこなわれた「第4次産業革命と知能生産システム」と題する先端技術講義も参加者の関心を引いた。

### 咸鏡南道剣徳地区で住宅建設

2021年5月14日付『朝鮮新報』によれば、咸鏡南道剣徳地区で住宅建設が力強く推進されているとのことである。剣徳鉦業連合企業所と大興青年英雄鉦山、龍陽鉦山等が立ち並ぶ剣徳地区は2020年9月の自然災害で甚大な被害が発生した。金正恩総書記は同年10月13日に剣徳地区を訪れ、同地区を両江道三池淵市の次に国家的なモデル山間都市、鉦山都市に立派に変える構想を表明したとされる。

同年1月に開催された朝鮮労働党第8回大会では、5カ年計画期間に剣徳地区に2万5000世帯の住宅を建設しこの世にないような鉦山都市を建設することが決定された。

同地区は山間地帯にあり、土砂災害を含め、被害がかなり甚大なようである。被害を受けているのは住宅だけでなく、今後5年間で鉦山そのものやインフラの復旧、増強を含めた、総合的な建設計画が立てられていると考えた方がよさそうである。

### 金徳訓総理が東部地区の複数の 部門を視察

2020年5月16日発『朝鮮中央通信』によれば、金徳訓総理が端川5号発電所新洪ダムと発電所、興南肥料連合企業所の第2窒素職場と新しく増設する発生炉組立場などを訪れ、江原道の川内里セメント工場の現存の生産土台を調べ、セメント生産能力の拡張に関連する活動状況を聴取し、咸鏡南道咸州郡、定平郡、高原郡の複数の協同農場と有機質複合肥料



工場を見て回りながら、春季営農準備状態を調べて当該の対策を講じた。

### 電力網の途中損失を減少させる対策

2020年5月17日発『朝鮮中央通信』によれば、北朝鮮で電力網の途中損失を減少させる対策が講じられており、特に咸鏡南道送配電部では、すべての市、郡の配電線を電気節約型で構成する事業をうまく行い、少なくない電力を節約したそうである。この他、平安南道、黄海北道、南浦市等でも研究と実践が行われており、送配電網の最適化が講じられようとしているとのことである。

### 遠隔教育法の内容

2021年5月18日付『朝鮮新報』によれば、政府機関紙『民主朝鮮』が、同年4月10日付と5月6日付で2020年4月に採択された遠隔教育法についての法規解説を掲載したことを報じながら、その内容を紹介している。

遠隔教育法によれば、遠隔教育は総合大学と重要部門別大学で行うとしており、当該大学には遠隔教育学部を設置することになっている。遠隔教育を受けようとする公民の大学への入学推薦は、機関、企業所、団体が行うことになっており、機関、企業所、団体は自らの単位の発展戦略と人材養成計画に基づき、遠隔教育を受けようとする公民を当該大学に推薦しなければならないとしている。また、推薦の記事は随時としている。

同記事は希望するすべての公民が学生となることができる遠隔教育を法として制定することは、全民科学技術人材化を実現する上で重要な意義を持つとしている。

北朝鮮の企業を訪問すると、従業員が遠隔教育で各大学の遠隔講義を受講するための部屋が用意されており、学ぶ意思のある人は誰でも勉強ができるように、職場でもさまざまな配慮をしているとの説明がある。

### 韓徳銖平壤軽工業大学で軽工業技術人材のための学科を補強

2021年5月20日付『朝鮮新報』は、平壤市の韓徳銖平壤軽工業大学で、基礎

雅楽技術および先端科学技術学科を新たに設置したと報じている。国家経済発展5カ年計画の初年度から教育事業における実際的な変化、実際的な前進をもたらすための措置であるとのことだ。新たな学科では軽工業部門の基礎科学技術発展、人工知能技術導入等の先端科学技術発展を推進する人材と軽工業工場、企業所で生態環境保護事業を科学技術的に管理できる人材を育てることになるとしている。

### 平安北道に新たな灌漑水路が完成

2021年5月20日付『朝鮮新報』によれば、平安北道に東来江貯水池から洪建島干拓地を結ぶ新たな灌漑水路が完成し、同月18日、通水式が現地で行われたとのことである。数千ヘクタールの規模の洪建島干拓地建設は、2012年9月に開始され、2020年4月30日に完工した。東来江貯水池は人民軍軍人と道内の勤労者たちが1年にも満たない短期間でダムを建設し、2020年11月30日に竣工したとされる。

通水式には、文景德平安北道党委員会責任書記、ケ・ミョン Chol 平安北道農業経営委員会委員長、関係者、鴨緑江地区灌漑管理所従業員、建設者、宣川郡内の勤労者がこれに参加した。

### 咸鏡南道人民病院がリニューアル

2021年5月20日発『朝鮮中央通信』によれば、咸鏡南道人民病院がリニューアルオープンし、開院式が同月19日行われた。

### 多くの青年たちが人民経済計画を繰り上げ達成

2021年5月22日発『朝鮮中央通信』によれば、青年同盟第10回大会を契機として、何千人もの若者が年間あるいは上半期（～6月）の人民経済計画を前倒したとのことである。炭鉱での年間計画達成者が多く、順川地区青年炭鉱連合企業所天聖青年炭鉱だけでも130人あまりの青年が年間人民経済計画を達成したとのことである。その他、金正淑平壤製糸工場や咸鏡南道水産局でも年間計画達成者が、熙川製糸工場、新義州紡績工場、亀城被服工場等の単位でも3000人を超える

青年たちが上半期の人民経済計画を繰り上げ達成した。

### 新設の咸興キムチ工場が竣工

2021年5月22日発『朝鮮中央通信』によれば、咸鏡南道に咸興キムチ工場が新たに建設され、竣工した。リ・ジョンナム咸鏡南道党委員会責任書記、キム・ヨンシク道人民委員会委員長、関係者が21日、新設されたキムチ工場を見て回った。同年5月27日付『朝鮮新報』によれば、キムチ生産の工業化が全国的に進んでおり、これまで江界（慈江道）、清津（咸鏡北道）、松林（黄海北道）、海州（黄海南道）、平城（平安南道）、新義州（平安北道）、恵山（両江道）など各道にキムチ工場が相次いで竣工しており、各工場では生産量や品数の拡大とともに、地元民の嗜好に即した地域独自の味の追求にも努めているとのことである。

### 北朝鮮における理想社会のイメージ

2021年5月26日付『朝鮮新報』は、「朝鮮が志向する理想社会のイメージ」と題する記事を掲載し、最近北朝鮮で高まる社会主義強国建設がどのようなものなのかについて論じている。

同記事によれば、「資本主義から社会主義への過渡期が終わり『社会主義の完全勝利』が達成されると、それは『低い段階の共産主義社会』となる」と北朝鮮では定義されており、「社会主義制度が樹立された後も、人民の物質・文化的生活のレベルを上げていき、労働者階級と農民の階級的差異、敵対分子による反動と古い思想の腐食をなくしていけば、共産主義の段階に入る事ができる」と考えられているとのことである。1月に開かれた朝鮮労働党第8回大会では、今後15年ほどすべての人民が幸せを享受する繁栄した社会主義強国を実現するという金正恩総書記の構想が伝えられたことを紹介している。

そして金正恩総書記の考える社会の理想とは、「私たちが理想とする強国、共産主義社会は、すべての人民が無病息災かつ安らかに仲睦まじく生きる社会であるとしながら、集団主義に基づく私たちの社会では、自分よりも他人を気遣うことが美德、美風とならなければならない、そういう意味

で共産主義社会を表すならば、すべての人々が喜びも悲しみも分かち合う社会といえと述べた」としている。

### 朝鮮職業総同盟第8回大会開催

2021年5月27日付『労働新聞』によれば、同年5月25日～26日、朝鮮職業総同盟第8回大会が平壤で行われた。内容は次のとおり。

大会には各級職業総同盟組織で選挙された代表者が参加した。党、行政、武力機関活動家がオブザーバーとして出席した。

李日煥朝鮮労働党中央委員会書記と職業総同盟中央委員会執行委員、道職業総同盟委員長、武力機関で職業総同盟活動を司る活動家、模範的な職業総同盟活動家と職業総同盟の初級活動家、関係者が幹部席に就いた。

大会では執行部と書記部を選挙した。

大会はつぎのような議案を承認した。

1. 朝鮮職業総同盟中央委員会活動総括
2. 朝鮮職業総同盟中央検査委員会活動総括
3. 朝鮮職業総同盟規約改正について
4. 朝鮮職業総同盟中央指導機関の選挙

大会では、金正恩朝鮮労働党総書記が朝鮮職業総同盟第8回大会参加者に送った綱領的書簡「職業同盟は社会主義建設の新たな高揚期を先頭に立って切り開く前衛部隊になろう」を李日煥書記が伝達した。

同書簡で金正恩総書記は、「歳月の流れと共に時代は変わり、世代も引き継ぎ交代していますが、われわれの労働者階級のように自己の栄えある闘争の伝統と革命精神を変わることなく受け継ぎ、党の偉業に忠実に従う頼もしくて誇りに足る労働者階級は他にいないでしょう」「われわれの労働者階級は、党と領袖の呼び掛けに応じて、社会主義・共産主義へとより速く進もうとする強い革命的熱情をもって消極性と保守主義を打破し、集団的英雄主義の威力によってわれわれの経済建設史で伝説的な奇跡を生み出した戦後の復興建設時期とチョンリマ時代の労働者階級のその精神と気迫を今日の革命的進軍でそのまま引き継いでいかなければなりま

せん」などとし、職業同盟の課題は第一に「労働者階級と職業同盟員を朝鮮式社会主義の明るい未来を確信して闘争する共産主義的信念の持ち主に育て上げること」「戦後の復興建設時期とチョンリマ大高揚期の労働者階級が身に付けていた社会主義の勝利への固い信念と楽観に見習うようにすることが重要」であり、第二に「労働者階級と職業同盟員を党が示した5カ年計画の遂行で国の長男、前衛部隊の役割を立派に果たす自力更生の先鋒闘士、創造の旗手にしっかりと育てること」「経済部門の職業同盟組織は、不足するものが多い状況下で短期間内に主要工業製品の生産を数倍に成長させ、他人が歩んできた数世紀を一気に飛び越した戦後の復興建設時期とチョンリマ大高揚の時期の闘争精神が今日の総進軍で強く発揮されるようにすべき」であり、第三に「労働者階級と職業同盟員を高尚な道徳と高い文化的素養を身に付けた社会主義文明の体現者に育てること」「労働者階級と職業同盟員は、闘争する時代、絶え間なく前進し飛躍する時代に共産主義的道徳観を体現し、健全かつ革命的な道徳的気風を確立すべき」であり、「職業同盟組織は、労働者階級と職業同盟員がわれわれの思想と体制、道徳と文化を脅かす反社会主義・非社会主義との闘争を強力に展開するようすべき」であるとした。

大会では、第1議案「朝鮮職業総同盟中央委員会の活動総括」に対する報告をパク・インチョル職業総同盟中央委員会委員長が行った。

職業総同盟組織で「全同盟が初級団体を助けよう!」というスローガンを掲げ、幹部が現場に定期的に出向いて初級活動家の水準と能力を高め、責任をもって助けする整然な事業体系を立てるようにした。

社会主義競争運動と集団的技術革新運動、26号模範機台創造運動と善行運動をはじめとするいろいろな大衆運動を活発に手掛けて労働者階級と職同盟員が社会主義建設に自分の熱情と知恵を尽くしていくようにした。

報告者は、職業同盟には朝鮮労働党第8回大会と党中央委員会第8期第2回総会が示した偉大な闘争綱領を体して、社会主義建設の新しい活路を切り開いた

めの総進軍で党の頼もしい援助者、擁護者としての責任と本分を全うしていかなければならない榮譽ある革命任務が提起されていることについて言及した。

革命の新しい高揚期、激変期の要求に即して職業同盟が時代と革命のために担った使命と任務を立派に遂行するために同盟活動に内在している欠陥を大胆に認め、徹底的に克服するための実際の対策を講じなければならないとし、総括期間、同盟活動で現れた欠陥と原因を資料的に分析、総括した。

報告では、党の指導業績を固守し、輝かすための活動を実質的に取り掛かれなかった問題、思想教育と組織生活指導を正しい方法論を持っておこなえなかった問題、大衆運動を職業同盟の主たる活動方式のひとつとらえて活気づよく推し進められなかった問題などが深刻に批判された。

総括期間に発露した欠陥の原因は、同盟幹部が透徹な信念と気構えがなく、条件云々を先行させながら実務能力を絶えず高めなかったことであり、同盟内部の活動に手間をかけず、誤った活動振り、無責任な活動方式を克服できなかったことであると指摘された。

大会では第1の議案に対する討論が行われた。

ボン・ウォンイク、パク・ヤンテク、チョン・ムンヨン、キム・ギョンス平壤市職業総同盟組織代表、リ・グァンイル咸鏡南道職業総同盟組織代表、シン・グァンヒョク黄海北道職業総同盟組織代表、パク・チョルチン平安南道組織代表、キム・ジュンギ鉄道省職業総同盟組織代表、リ・チュンヒョク黄海南道職業総同盟組織代表、ハン・ゲイル首都建設委員会職業総同盟組織代表が討論した。

リム・チュンイル江原道職業総同盟組織代表、キム・チャンソン慈江道職業総同盟組織代表、キム・ヨンゴン両江道職業総同盟組織代表、リ・ウン平安北道職業総同盟組織代表、リ・チョンナム、キム・ギョンスク平安南道職業総同盟組織代表、ムン・イルナム咸鏡北道職業総同盟組織代表、リ・ミョンチョル南浦市職業総同盟組織代表、ユ・ミョンハク内閣職業総同盟組織代表、キム・ソンジョン開城市職業総同盟組織代

表が書面討論を提出した。

討論では総括期間、各級同盟組織の活動で現れた欠陥と原因が厳正に分析、総括された。討論者は、5大教育を思想教育の主眼と捉えて攻勢的に繰り広げ、大衆運動を改善するための具体的な設計と作戦を迫随させるうえで発露された欠陥について深刻に批判した。

討論ではまた、同盟内部活動で形式主義、要領主義を克服していない問題、前世代労働者階級の忠実性のバトンを揺るぎなく継いでいくための教育活動を実質的にこなわなかった問題、反社会主義、非社会主義的行為との闘争を大衆自身の仕事に転換させて強い調子で展開しなかった問題が冷静に分析され、これを早急に退治するための対策が述べられた。

大会では第2議案「朝鮮職業総同盟中央検査委員会活動総括」に対する報告に続いて討論が行われ、決定書が全員一致で採択された。

大会では第3議案「朝鮮職業総同盟規約改正について」が討議された。革命発展の要求と職業同盟の建設原理に即して修正、補充された朝鮮職業総同盟規約改正に対する報告に続いて決定書が代表者の全会一致で採択された。

大会では第4議案「朝鮮職業総同盟中央指導機関選挙」を討議した。まず朝鮮職業総同盟中央委員会を選挙した。推薦された職業総同盟中央委員会委員および委員候補の候補者全員が、代表者の全員賛成で職業総同盟中央委員会委員および委員候補に選挙された。

職業総同盟中央委員会第8期第1回総会が行われた。朝鮮労働党中央委員会書記李日煥同志が職業総同盟中央委員会第8期第1回総会の結果を発表した。朝鮮職業総同盟中央委員会執行委員会が選挙された。

職業総同盟中央委員会委員長にパク・インチョル氏、副委員長にカン・チョルマン

氏、ボン・ウォンイク氏、パク・ヤンテ氏、キム・ソンホ氏、チェ・スドン氏が選挙された。

職業総同盟中央委員会組織委員会が構成された。職業総同盟中央検査委員会委員長、副委員長、委員たちが選挙された。また職業総同盟中央委員会部長と職業総同盟中央委員会機関紙主筆が任命された。大会は、新しく選挙された第8期職業総同盟中央指導機関のメンバーで大会決定書草案作成委員会を選挙し、委員会は第1の議案に対する決定書草案を総合的に審議した。

大会では代表者たちが提起した創意的且つ建設的な意見の補足、反映された第1議案に対する決定書が代表者の全会一致で採択された。

大会は歌謡「金正恩將軍、命を賭して死守する」の奏楽で終わった。

ERINA 調査研究部主任研究員

三村光弘